

平成25年度  
第1回稲毛区公民館運営審議会議事録

- 1 日時 平成25年6月19日(水) 午後2時～4時
- 2 場所 小中台公民館(講堂)
- 3 出席者 (委員 12人)  
地引 昌子委員長 青柳 典子副委員長 佐々木 美智子委員  
周東 ひさ子委員 藤川 勇委員 森脇 清委員 土屋 敏夫委員  
種池 賀子委員 飛鳥井 航一委員 菊池 まり委員  
三橋 和生委員 碓 茂樹委員  
(事務局 11人)  
金谷館長、薬師神副館長(小中台) 平野館長(黒砂) 倉原館長(轟)  
若山館長(稲毛) 鈴木館長(千草台) 小川館長(草野) 渡邊館長(山王)  
大塚館長(都賀) 高橋館長(緑が丘) 高木主任主事(草野)

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 小中台公民館長あいさつ
- (4) 新任委員紹介
- (5) 議題
  - ① 平成24年度公民館利用状況について
  - ② 平成25年度公民館事業計画について
- (6) その他
- (7) 閉会

5 議事の概要

- (1) 平成24年度公民館利用状況について  
稲毛区各公民館の利用状況を事務局から説明した
- (2) 平成25年度公民館事業計画について  
稲毛区各公民館の事業計画を事務局から説明した

## 6 会議経過

- 事務局 それでは、これより、平成25年度第1回千葉市稲毛区公民館運営審議会を開会させていただきます。
- 本審議会は、千葉市情報公開条例第25条に基づき会議を公開し、傍聴を認めております。また、議事録については、公開することとなっておりますのでよろしくお願ひいたします。
- 事務局 それでは、次第に従いまして、進めさせていただきます。
- 初めに委員長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。委員長よろしくお願ひいたします。
- 委員長 あいさつ
- 事務局 続きまして、小中台公民館館長より、ごあいさつ申し上げます。
- 中核館長 あいさつ
- 事務局 ここで、新たに委員となられた方をご紹介します。
- 委員 新任委員あいさつ
- 事務局 続きまして事務局職員を紹介させていただきます。
- 中核館長 事務局職員紹介
- 事務局 それでは、このあとの議事について、委員長よろしくお願ひいたします。
- 委員長 本日、委員14人のうち12人のご出席がありますので、規定により、会議は成立しております。
- 次に、議事録署名人の選出ですが、私から指名させていただいてよろしいでしょうか。
- 委員 「異議なし」と呼ぶ者あり
- 委員長 それでは、菊池委員さん、飛鳥井委員さんのお二人にお願ひいたします。
- それでは、「議題1 平成24年度公民館利用状況について」事務局より説明をお願いします。
- 事務局 「議題1 平成24年度公民館利用状況について」説明。
- 公民館の開館日数、利用人数、利用時間帯別人数及び内訳等。
- 公民館図書室の蔵書数、登録者数、貸出冊数、リクエスト件数等。
- 委員長 ただ今の事務局の説明について、何かご質問等はございますか。
- 質問がないようでしたら、次に移ろうと思いますが、よろしいでしょうか。
- では、議題2に移ります。
- 「議題2 平成25年度公民館事業計画について」事務局より説明をお願いします。
- 事務局 「議題2 平成25年度公民館事業計画について」説明。
- 各公民館の事業計画等。
- 委員長 ただ今の説明を伺いまして、質問、意見などございますか。
- 大変バラエティに富んでいて、聞いていても楽しくなる、夢が湧くような事業が多かったですね。ここで皆さんが意見を言うてくださるので、対象者の幅が広がりましたよね。本当に小さいお子さんから小学生、中学生、大人、高齢者まで広がった年齢層になったな、と思います。他に何かございますか。

委員 委員長がおっしゃったように、色々とバラエティに富んで、去年より今年、更にまた来年が楽しみなんですけれども、事業費の削減の中で非常に皆さん御苦労なさってメニューが出来てきております。その中でも特にいいのは歴史ですね。今まではあまりなかったんですけれども、まず自分の住んでいるところへの愛着、あるいは歴史を調べていこう、と。その中でまた自分たちも愛着を持ってここに住んでいこうということから、公民館が地域の基地であるということで、非常にいいな、と思いました。それともう一つ、去年も質問したことがあるんですが、山王公民館が各企業とか行政など、色々なところと非常に上手に協力していただいている、これが非常にいいパイプを持っていらして、私は感心いたしました。事業費削減の中でやっていかれるということは、これはもう知恵ですよ。素晴らしいことだと思います。うちの方の公民館でももう少し考えていかなきゃいけないかな、ということを勉強させられました。

それから稲毛公民館ですが、この浅間まんじゅうというのが非常に有名なおまんじゅうで、ある和菓子屋さんが作っても作っても売れてしまう、というお話を聞いております。講師の方は和菓子の先生なんですか。

委員 私が聞いているところでは、地元に住んでいらっしゃるおばあちゃんと聞いています。

委員 非常に評判がいいんですよ。(和菓子店で) 売っていてもすぐなくなるそうですね。それを聞いて非常にいい企画だな、と感じました。それから稲毛の浅間神社には毎年夜灯(よとぼし)というのがございますよね。私も行ったことがなくて一度行ってみたいと思っているんですが、そういうのをもっと、公民館と一緒に上手くジョイントして、地域活性化につながられるといいのかな、と思います。本当にこれは素晴らしいと感心していて、人間お金がなくなるとこういういい知恵も湧いてくるのかな、と感じました。

委員長 ありがとうございます。夜灯について何かあれば。

委員 そうですね、夜灯については非常に人気がありまして、5、6月頃から灯籠に使う竹の伐採から始まりまして、小中学生のお子さんを巻き込んで、地域の住民の皆さん約3,000名の方が関わって、11月23、24日の当日に備えています。昨日も稲毛小学校の3年生が5~6人見えまして、夜灯に関していろいろ質問されました。今年で第8回、8年目になるんですけども、その夜灯のいわれ、昔の稲毛海岸の夜間カンテラでやった漁の風景を催して、稲毛の地域の商店街の方々が発案したお祭りなんですけど、当日は通行止めまでして、非常に人出もあります。いずれにしても、一つの事業をやるというと、予算が大分行政からの補助金も削られているようで、随分苦労しているようです。私も相談役としてもう8年目になりますが、一所懸命皆さんがやっているのを遠くから見て感心しているところです。

委員長 ありがとうございます。素晴らしい、頼りになる顧問の方が相談にのってくださるので、これは発展するなと思います。頼れる人がいないとうまくいかないですよ。これがいいのは提灯を作ったりして子どもが携わっていることですね。大変い

いことだと思います。浅間まんじゅうについてもご質問いただいてありがとうございます。これは（以前の）婦人会の方が作ってらっしゃるんですね。私もまんじゅうを文化祭で作ろうとしたら上手くいかなくて。やはりこれはベテランの技ですね。素朴な味で好評です。

委員 夜灯は稲毛で是非広めていただきたいと思いますね。場所はどこでやっているんですか。

委員 京成稲毛駅のロータリーですね。稲毛小学校の隣の千蔵院という大きなお寺でも、灯明コンサートというのを2週間前にやりました。

委員 あのお寺は公民館パート2のような感じで、子どもたちのためにも非常に素晴らしいと思います。

委員長 いいご意見をいただきました。皆さまからこんなに喜ばれているんですから、今年も楽しく、よろしく願います。

委員 山王公民館は非常に上手に企業を活用していますが、あれは伝統ですか。

委員 利用者団体、連合会の方が非常に活発に活動を行っていて、その中で講師の先生などもお願いしやすい環境でして、それがここ数年、大きく輪が広がってきたという気がしております。

委員長 他に何かございますか。

委員 それではお聞きしたいんですけども、最初にお話があった中に、稲毛区の公民館全体を通して子育て支援のための事業を今年度の目標にしているということですが、この中で全ての公民館で全36回の子育て講座をやると。これを聞いていて、やはり稲毛区にある公民館が何を今年度の事業の目玉にして、共通項目にしているという視点をきちっと立てられたのは非常にいいことだと思うんですね。これは各館で集まって話し合い、現在の社会状況だとかお住まいの状況等から要望を募った中から、この今年度の目標が出てきたのか、このあたりを教えていただきたいんですけども。

事務局 子育て支援の事業についてですが、具体的には今年度36回と去年よりも2回多く設けております。去年と一番変わりましたのは、去年は1年のうち前期、中期、後期のように間を空けて実施していたんですが、それですとお母さんたちがせっかく友達になっても、次に来たときに今一つ顔見知り度といいますか、それが薄いので、今年度は4、5、6月とか7、8、9月とか3回くっつけてまして、お互いに見知っている間に会う頻度を増やして、友達作り、あるいは居場所作り、あるいはお産の相談なんか気軽にできる感じがいたしました。先日千草台の方で3回目が終わったんですが、参加者の中から自分たちでサークルを立ち上げてやっていこうという動きもございました。去年は非常に参加者が少ない地域だったんですけども、まとめて連続して行うことで、そういう動きも出てきたようです。

委員 良く分かりました。是非続けていっていただければと思います。

委員長 この子育て事業もどんどん増えていきますよね。そして参加者も多くなっていく。ということは、時代に合っているというか、若いお母さんたちも伸びようとしてい

るんですね。その伸びる場所や勉強する場所がないので、そのきっかけを公民館に作っていただいているということは非常に安心感があるといえますか。今、街で色々事故が起きていますよね。学ぶ機会があるというのはいいことだと存じます。

他にご意見はありますか。ないようでしたら今日はもう一つ説明する事項が入っていますので、そちらに移りたいと思います。

郷土を生かした事業がどんどん増えているということ、それから少ない費用からいかにして生み出すか。やはり企業や先生などと協力して、手をみんなで仲良く携えていく。赤ちゃんから若いお母さんから高齢者まで、公民館の学習する場を通して携えていく。それが大きな事故や災害が起きた時にみんなで手を携えていくということに繋がっていくのではないかと思います。そのきっかけを公民館が作っていくというのはとてもいいことだと思いますね。どうぞ公民館の館長さん、いい事業です。自信を持って楽しくやっていただきたいと思います。皆さんありがとうございました。

では次に移りまして、5番目の「その他」について、お願いいたします。

事務局  
委員長

「公民館予約システム」の導入について、概要説明。

今の説明で「なるほど、こう変わったのか」「こうすればいいんだ」というのがイメージできましたでしょうか。

委員

使用料はどうなりますか。

事務局

使用料は今のところは無料で継続する予定です。

委員

これは小中台公民館はモデル事業として試験的におやりになるんですか。

事務局

いえ、一斉にです。

委員長

他に何かお話はございませんでしょうか。なければこれで本日の審議は終わりになりますがよろしいでしょうか。皆さまお忙しいところ貴重なご意見ありがとうございました。

事務局

委員の皆さま、長時間のご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、「平成25年度第1回千葉市稲毛区公民館運営審議会」を終了させていただきます。お疲れ様でございました。

(問合わせ先) 所管課：千葉市教育委員会生涯学習振興課

電話：小中台公民館251-6616